

## 2022年 千葉県シニアサッカーリーグ（リーグカップ）要項

- 1 目的 参加各位の健康増進を図り、生涯サッカーを志す同士の仲間作りを推進する機会とする。
- 2 主催 (公社)千葉県サッカー協会
- 3 主管 (公社)千葉県サッカー協会シニア委員会
- 4 協力 (NPO法人)市原市サッカー協会
- 5 協賛 (株)モルテン、(株)アスレタ、(株)ウインスポーツ (PENALTY)
- 6 期 日 2022年2月～11月
- 7 会 場 千葉県総合スポーツセンターサッカー・ラグビー場、市原スポーツパーク、市原市各スポーツ施設、千葉県総合スポーツセンター東総運動場、フクダ電子スポーツフィールド、成東総合競技場、ATS (市原レイクサッカー場) 他
- 8 参加資格 チームは千葉県サッカー協会シニア委員会・シニアリーグ部会に登録、参加すること。  
40代：2023年(4月1日)以前に満40歳以上の者(1983年4月1日以前に生れた者)を原則とし、40歳未満(37歳以上)の者は、1試合2名まで参加可能とする。  
50代：2023年(4月1日)以前に満50歳以上の者(1973年4月1日以前に生れた者)を原則とし、50歳未満(47歳以上)の者は、1試合2名まで参加可能とする。  
60代：2023年(4月1日)以前に満60歳以上の者(1963年4月1日以前に生れた者)を原則とし、60歳未満(57歳以上)の者は、1試合2名まで参加可能とする。  
70代(O-65 JUNIOR)：2022年に65歳以上の選手(1957年4月1日以前に生まれた者)(65歳以上選手とし、アンダー枠はなし)  
※ 但し、令和4年の誕生日で満65歳になった選手も可能とする。  
※ 日本サッカー協会シニア登録チーム・シニア選手(個人登録も行うこと)とする。クラブチーム登録は各世代参加に関わらず、1クラブチーム登録で構わない。  
例：(古河市原シニア40、50、60)同一チーム登録(古河市原シニア)です。
- 9 参加チーム(予定)  
40代：①FC船橋、②FC市原シニア、③古河市原シニア、④FCトカネシニア、⑤1981、⑥浦安シニアFC  
⑦Y-AJACK、⑧商大クラブ、⑨習志野台クラブシニア、⑩千葉四十雀SC40、⑪FC BRAZENTIN、  
⑫大倉商事SC、⑬袖ヶ浦木更津シニア、⑭四十雀クラブ東京、⑮Leven Senior、⑯FC佐倉シニア、  
⑰ハルオ・F.C. Max. R、⑱八千代AJACK、⑲花園OYJI SC、⑳H. S. G、㉑九十九里シニア、  
㉒大木戸SC ぱばさんず、㉓スケッチFC、㉔習志野四十雀、㉕C. E-BLUE、㉖MITシニア、  
㉗FC エスペランサ、㉘八日市場FC、㉙45千葉四十雀SC、㉚浜野シニア、㉛FC MAKUHARIシニア、  
㉜FC オクトパス ㉝FC フォルテシモ ㉞花園OYJI45 以上、34チーム
- 50代：①F. C オクトパス、②FC船橋50、③四十雀クラブ東京、④袖ヶ浦木更津シニア、⑤古河市原シニア  
⑥九十九里シニア、⑦千葉四十雀SC50、⑧習台50、⑨浦安シニアFC、⑩浜野シニアFC50  
⑪FC佐倉シニア、⑫緑町シニアスターズ、⑬龍子会シニア、⑭習志野四十雀、⑮大木戸ぱばさんず50  
⑯55習台、⑰ちばコスモスFC、⑱55FC船橋、⑲55千葉四十雀SC、⑳55浜野シニアFC、  
㉑55FC. オクトパス、㉒商大クラブ、㉓エスペランサ、㉔55CE-BLU、㉕1985オクトパス ㉖スケッチ50  
㉗大倉50、㉘C. E-BLUE55 以上、28チーム
- 60代：①習台60、②古河市原シニア、③四十雀クラブ東京、④龍子会シニア、⑤ACちば、⑥FC佐倉シニア、  
⑦袖ヶ浦木更津シニア、⑧シニア葛城クラブ、⑨千葉四十雀SC、⑩浦安シニアFC、⑪B-ACちば、  
⑫習志野四十雀、⑬大木戸SC ぱばさんず、⑭65習台、⑮EC-ASURETA、⑯ねんりん県選抜  
以上、16チーム
- 70代(O-65 junior)  
①ACちば70、②ACちば65-A、③ACちば65-B、④千葉・古河65、⑤BAY65、⑥古・千70  
以上、6チーム 計 84チーム
- 10 表彰 チーム 世代毎に優勝、準優勝、第3位を表彰する。(カップ・トロフィー・賞状)  
個人 世代毎に最多得点賞、最多アシスト賞、GK賞、特別賞他を表彰する。
- 11 競技運営方法

- (1) 試合時間 50分ゲーム(25分ハーフ)
- (2) 会場準備 会場の準備は、原則として第一試合のチームが行い、後片付けは最終試合のチームが行うこと。
- (3) 選手証確認 本部担当チームが選手証(カラープリント)の参加メンバー表の確認をし、試合を運営する。  
グラウンドの後片付けまで確認をし、終了とする。  
(シニアリーグ用メンバー表使用：アンダー・重複登録・U・重複登録を確認する)
- (4) 試合結果 午後の最終本部担当チームが試合結果をまとめる。  
※ 担当レフリーは必ずゲーム結果表に得点者・アシスト者等を記入する。  
試合後、各チーム代表者は個人記録を本部にて確認する。  
最終本部担当チームは、事務局へメールにて結果を報告する。  
※ 事務局記録係 榊原(チーム結果)、高橋(個人記録全体)、片平(懲罰他)、水島(登録他)  
※ 各世代記録役員(呉羽・高山・立花・松永・橋本・谷口・荒生・須永・松嶋・唐木田・平野・松嶋)(事務局:井上)

12 競技規則 JFA規則(2021-22年ルール)、千葉県シニアサッカーリーグ・細則による。

### 13 参加申込

- (1) 所定の参加用紙に必要事項を記入し、事務局あてにメールで送付(メール申請)すること。  
(公社)千葉県サッカー協会 シニア委員会事務局  
メールアドレス [ka-inoue@bea.hi-ho.ne.jp](mailto:ka-inoue@bea.hi-ho.ne.jp)
- (2) 申込期日 2021年12月25日(土)必着

14 参加料 1チーム ¥50,000(0-65参加費¥40,000) を2022年1月11日までに下記口座に送金すること。

〈口座〉千葉銀行 みつわ台支店 店番号(061) 口座番号3571557 千葉県サッカー協会シニア委員会 会計 田上 正彦
--

15 ユニフォーム ユニフォームについては、正副2着を所持し、登録した番号のユニフォームを着用すること。  
アンダーウェアの使用は認めるが、ユニフォームと同色、又は紺・黒であること。  
アンダーパンツについても同色、黒もしくは紺色、混載の使用を認める。

16 傷害保険 本大会参加者は、全員スポーツ保険等の傷害保険に加入すること。試合中のけが等はチームの責任で処置する。

17 代表者会議 2022年1月15日(土) 予定9:30~13:00  
会場 植草学園大学 M棟1階(20・21番講義室)  
〒264-0007 千葉県千葉市若葉区小倉町1639-3

18 その他 優勝チームは、関東選手権大会に出場できる。  
40代一部 優勝：関東選手権県大会  
40代二部・三部優勝：12月 茨城神栖市長杯(神栖市G)  
50代一部 優勝：千葉県大会 二部優勝チーム：松島フェスタ(希望により)  
60代 群馬県大会(選手権準優勝チーム：KTFA 選手権)  
※ 優勝チームが千葉県サッカー選手権大会優勝チームと重複する時は、準優勝チームが次の試合に出場できる。(40代：神奈川県、50代：東京都、60代：茨城県、70代：栃木県大会)

大会事務局 立花秀人、高口義彦、藤崎 孝一(古河市原シニア)、岩川稔則、大塚文彦(緑町シニア)、呉羽忠彦(AC ちば)、金山伸二、伊勢昌司(四十雀クラブ 東京)、坂本淳、松沢剛、松嶋久也(習志野四十雀)、外山正(シニア葛城クラブ) 加藤正仁、福田美正(習台)、守月理、高尾英樹(龍子会) 古田直俊(ちばコスモス)、進藤博、小林正喜、足利尚紀(千葉四十雀SC) 松永俊宏、石原泰彦(FC 船橋)、橋本直幸、江川慎一、深沢泉(浦安シニアFC)、八木正彦(1981) 井上龍彦(ねんりん)、野田高志、生野隆、長嶋浩一、石黒信行(袖ヶ浦木更津シニア)、櫻井文男、猪股康博、松平知樹(FC 佐倉シニア) 清水勝雄(ハルオ FC) 堂本雅一(大木戸ぱぱさんず)、大谷昌(大倉商事SC) 須永裕幸(花園 OYAJI FC) 大木一郎(九十九里シニア)、中野秀昭(Y-AJACK)、高橋孝治(スケッチFC)、長谷川文男(八日市場FC)、伊倉広幸(FCトカシニア)、渋谷芳邦(FCマハリ、今井智茂(MIT)、渡邊秀樹(フォルティ) 他(順不同)

### シニア委員会事務局

運営委員長	高田 敏	審判委員	高山 克彦、手塚 千俊、呉羽 忠彦
会場係	井上 龍彦、子安 泰晶	会計	田上 雅彦、三橋 和生
庶務	中野 秀昭	記録	榊原 淳一、高橋 征良、各世代記録係

## 千葉県シニアサッカーリーグ細則

- 1 参加チームは、日本サッカー協会千葉県にチーム登録（チーム登録及び個人登録）をすることとする。メンバー追加登録は随時可能。但し、必ず事務局に登録をすること。又、入替戦出場チームの追加登録はリーグ戦最終試合（8月末）までとする。（千葉県登録チームに登録された選手以外の出場はできない。例外の出場も認める。試合には登録選手証（カラーコピー使用可能）、試合メンバー表を提出すること。
- 2 年齢 40歳リーグ：37歳以上（グラウンドには40歳以下の者2名までとする）とし、女子は年齢を問わない。  
50歳リーグ：47歳以上（グラウンドには50歳以下の者2名までとする）とし、女子は年齢を問わない。  
60歳リーグ：57歳以上（グラウンドには60歳以下の者3名迄とする）とし、女子は年齢を問わない。  
70・65歳リーグ：65歳以上（誕生日で65歳に成った選手）アンダー枠での参加はできない。  
\*年齢基準日（2023年4月1日時40・50・60歳の年齢）、女子は年齢・重複登録を問わないが5名以内とする。
- 3-① 資格 チャレンジチームのオリジナル登録メンバーの人数は11名以上を揃える事。  
重複7名・アンダー枠各5名登録、計人数は10名以内とする。  
グラウンド上にはアンダー枠2名迄、重複選手は最大3名迄可能、合計最大3名とする。  
重複登録選手は所属するチーム他、下位リーグに各1チームとする。60代本登録チーム以外1チーム、下位世代に1チーム重複登録可能。上世代から同クラブ内下世代に1チーム登録可能。  
所属クラブ以外のアンダー枠選手は、2人分枠の使用（60代選手含み）とする。
- 3-② 資格 フレンドリーチーム 重複・アンダー枠出場選手内訳  
重複出場選手5名迄・アンダー枠2名迄出場可能（2・3部関わらず）、合計7名迄出場可能とする。  
※（選手登録：重複登録10名以内、アンダー枠登録5名以内、合計12名迄とする。）  
21年度シニア委員会会議にて決定。将来的にフレンドリーリーグの創設時、再見直す。  
60代チーム重複登録7名アンダー枠5名、重複選手出場5名以内、アンダー枠選手2名以内、最大5名迄とする。  
女子選手の年齢・重複はこの限りではない。但し、出場・登録は5名迄。 （重複・アンダー枠規程参照）
- 4 同一クラブで2チーム以上のチームに登録した場合、両チームともチャレンジする時は単独チームで各登録しなければならない。単独チームとは11名以上の登録者がおり、重複登録者はグラウンドに3名までとし、アンダー枠選手を含め、グラウンドには3名までの出場とする。
- 5 リーグ参加費は50,000円（65リーグ4万円）とする。但し、全ての試合を芝のグラウンドを使用することから、会場確保の状況により参加費を変更することもある。
- 6 各チーム重複・アンダー枠規程人数の登録申請、事務局にて重複・アンダー枠登録一覧作成し確認する。
- 7 試合成立は7名以上とする。但しメンバーが不足しても試合が出来る場合は、当該チームは相手チームに迷惑を掛けず、試合を実施する義務が有る事を確認しておく事。試合の直前キャンセル等により運営に支障をきたすことが発生した場合は、リーグ事務局により罰則、除名することもある。
- 8 レフリーの資格は求めないが、3級以上の技能を有する者とする。レフリーの登録をチーム内で決定し、事務局に届け出る事。レフリーは当リーグにより決定された担当チームが行う。審判服を着用し審判を行う事。（個人表彰に伴い、試合結果を記録表に記録し、事務局に報告をすること）審判着の向上目的とし講習会を順次開催する。
- 9 選手、監督はレフリーの決定に必ず従う事。又、レフリーの判断により選手、監督を退場させることができる。この時、次試合の参加もレフリーの判断で事務局に報告し決定するが、その場でレフリーの判断により次の試合の参加許可も出せる事とする。
- 10 警告は累積となり、警告2枚で次試合を出場停止とする。悪質行為及び非紳士的行為等が発生した時は、レフリー及びリーグ委員会事務局の判断に委ねる事とする。出場停止は当該チームで消化されない限り他チーム（重複登録）からも出場はできない。  
※危険な行為及び非紳士的行為等で指示に従わない時は、レフリーの権限で選手交代を促すことができる。シンピングの適用。（退場とせず、交代を即し冷静な判断ができるようにし、再出場を認めるなどの誘導をすること。）  
審判へのクレームは一切認めない。非紳士的行為を認めないことを各チームの選手に徹底すること。
- 11 怪我をしない、させない様、各チーム内で徹底する事。  
試合中の怪我・事故に関し、各チームの責任に於いて傷害保険等に加入し対処すること。
- 12 オフサイドについては従来のルール（オフサイドと判断した時に笛を吹く）でも構わないこととする。
- 13 メンバーの交代は常時可能とする。交代したメンバーが再度交代メンバーにもなれる。自由な交代を認める。

交代の時は本部、審判に確認をし、指示を受けてから入る。(時間稼ぎの交代は非紳士的行為とし認めない)

14 グラウンド・会場は、企業・行政から借用しております。(各会場注意事項、規則を遵守する)

※ 必ずゴミは各自で持ち帰ること。施設内全面禁煙会場があります。喫煙は所定の場所で行うこと。

15 各リーグの入替について、各上位リーグの最下位と下位リーグの1位チームは自動入替とする。上位リーグの下位2番目チームと下位リーグの2位チームは入替戦を行う。入替戦の出場資格は、8月末までの登録選手とする。8月リーグ終了後、入替戦メンバー表の提出登録をする。

※ 他 競技規則は日本サッカー協会競技規則(2020-21年改定規則)に準じる。

(MC: マッチコミッサー) : 追加細則 (趣旨)

千葉県サッカー協会シニア委員会はサッカーの発展とシニア世代の健康維持と交流を深めスポーツとしてサッカーの仲間作りを図る(シニア委員会の理念を尊重する)。

大会参加の全てのプレーヤーが円滑な安全管理のもと、ゲーム進行ができるよう快適環境を提供する事。

年々増加するシニアサッカープレーヤー、競技者にはフェアプレーの重要性と競技規則を守り、サッカー競技の品位を保つよう配慮することも重要になっている。当委員会は公平性と大会実施要綱に沿った円滑な運営を行う為、本部がマッチコミッショナーの役割を担う。

#### ○ 本部の役割

運営 (新型コロナウイルス感染症) 対策を注意し開催する。

- 1 第一試合の本部担当は、開始1時間前に集合し、会場設営の指導と監督を行い、最終本部は会場の後片付け、最終処理まで行き、確認をする。
- 2 運営(試合当日の事前準備)  
スケジュール表・結果表・審判報告書を雛形でプリント準備。
- 3 タイムスケジュールの遵守  
試合開始時刻、終了時刻を徹底する。借用グラウンドは使用時間が限定されております。最終試合が円滑に終了できる様、  
体の試合数を把握し、運営する。特に、時間単位で借用している会場の運営は注意する。  
開始時刻は各時30分(00分)、終了時刻は各時25分(55分)とし、遅れた時には、当該チームに後半の時間短縮をすること  
事前に知らせる。事故以外、ロスタイムは取らない。
- 4 飲水タイムを取る時は、事前準備を工夫するなどして短時間で済ませる。
- 5 メンバー表、選手証の提出を30分前に行えるよう当該チームに指示する。又、審判の準備についても、試合開始時刻に支障が出ない様に促す。
- 6 選手の集合を10分前に行い、用具チェックを行う。
- 7 本部の引継ぎを行う時は報告事項を確認し、円滑な運営ができる様行う。
- 8 試合スケジュールにより左記チームをホームチームとし、グラウンドに向かって左側のベンチを使用するとともに、ホームユニフォームを着用する。
- 9 試合終了後、両チーム代表者により個人記録の確認を行う事。確認せずに離れた時、試合後の記録訂正は認めない。

#### ○ マッチコミッサー

- 1 千葉県シニア委員会が主催する各カテゴリー(40・50・60)の本部は、マッチコミッショナーの役割も担う。
- 2 選手証により選手の試合に於ける出場資格を確認し、メンバー表に記載不備がある時は訂正をさせる。
- 3 試合終了後、結果確認は審判を含めて行う。得点者等不明な時は、当該チームに必ず確認を取る。(不明のままにはしない)
- 4 試合の中断、悪質な違反による退場及びイエローカードの提示等は、必ず審判に報告書への記入が有るか確認をする。
- 5 本部担当者は、審判が円滑な試合運営が出来るよう、アドバイス等を行う。
- 6 審判のジャッジ、判定基準、判断、運動量などに問題が有る時は結果報告書にて報告をする。
- 7 試合終了後、試合結果表、審判報告書を事務局へメールにて提出する。  
※事務局記録係 榊原(浦安ニアFC)、高橋(ビッグホンFC)、各世代記録役員(唐木田・木方・大和久・板脇)、井上(事務局)
- 8 ユニフォームのチェックは、各パーツが対戦チームで同色にならないよう確認をする。

#### ○ 審判の役割、心構え

- 1 試合前、試合後に両チームにハンドシェイク（握手）を必ず行わせる。フェアプレーの重要性を推奨する。
- 2 相手選手への安全の配慮を重視し、危険なタックル、腕やひじの不正使用の根絶を図る。
- 3 審判員、相手選手、チーム内に批判や中傷を云っていないか等を確認する。
- 4 タイムスケジュールを遵守する。（試合開始・終了時刻、ハーフタイム、飲水タイムの厳守）
- 5 審判はボールの近くでの判定を心掛ける。正確な判定ができるよう、動いてジャッジする。センターサークル付近で判定している審判が見受けられるので特に注意をする。
- 6 試合結果の確認及び報告書の提出をする。（審判報告書に署名、副審の署名(氏名、所属クラブ)

※ 試合球は、各世代とも下記品番を使用することとする。

モルテン製 40代：F5V5000(F5A4900) 50・60代：F5V3050(F5A3050) 65・70代：F5V3060(F5A3060)

## ユニフォーム規定

### 1、ユニフォーム規定（シニア委員会細則により、サッカー協会ユニフォーム規定に準じる）

- ・アンダーウェアは（ユニフォーム・パンツ）と同色、紺、黒の着用、混在も認める。  
但し、切り返し・ステッチ、大きくプリント等されている物の着用は認めない。  
（STの無地、ワンポイントマークはサイド・フロントマーク・マーク無しの混在を認める）
- ・ストッキング止め・スネアテ止めテープの色は問わないが3cm以内とする。
- ・ユニフォーム、パンツ、ストッキングは同デザインの着用義務。  
メーカー違いは認めるが、ワンポイントの位置（ST、フロント・サイドマーク・ノーマークの混在を認める）  
※但し、フロントマークは著しく大きい物の使用は認めない。本部が大きいと判断した時、選手は履き替えるか、同色テープで覆う事。本部に対する異議は認めない。必、指示に従う事。  
チーム代表者はチーム内徹底、確認する事。本部にクレーム等、異議を申し立て時時はST規則に戻す事になります。  
\*パンツ・STのワンポイントとライン（切り返し）入りの混在も認めない。

(公社)千葉県サッカー協会 シニア委員会  
シニア委員長 高田 敏  
運営事務局 井上 龍彦